

審査委員会奨励賞

OKI本庄工場H1棟

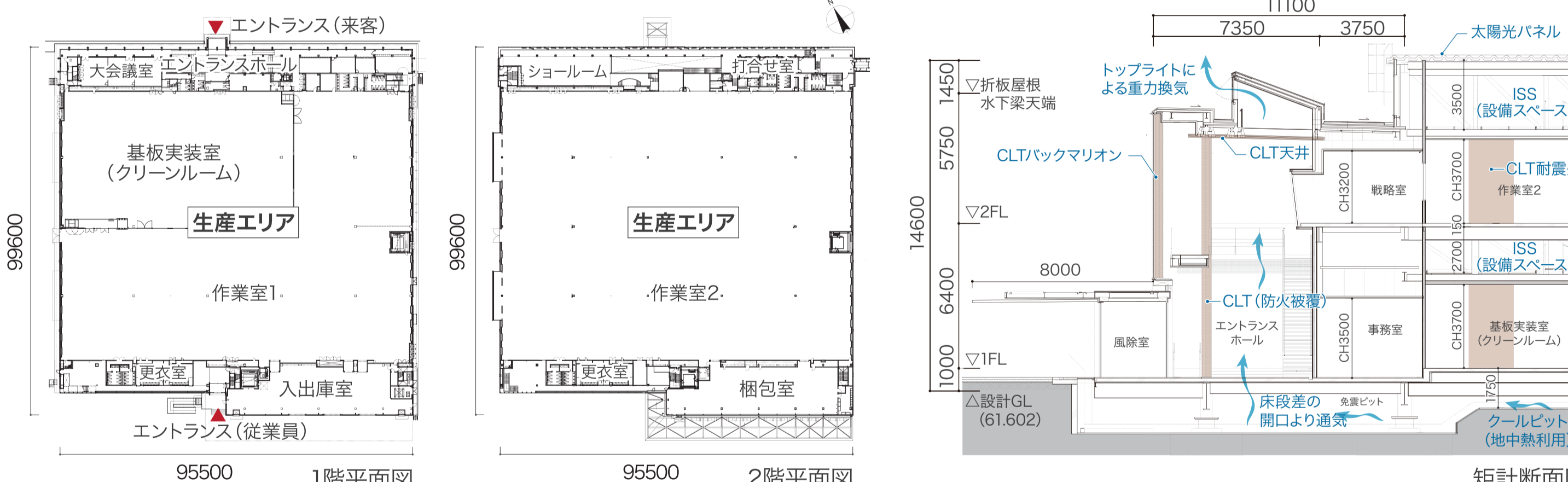
OKI 本庄工場 H1棟

沖電気工業（以下OKI）の創業150周年に向けた「モノづくり基盤強化」および「DX新戦略のフラッグシップファクトリー」の実現のために、新たな生産拠点を建設したプロジェクトです。従来の工場は、モノづくりによって人々の生活を豊かにし、経済成長を実現してきた一方で、大量の資源・エネルギーを消費し、廃棄物を発生してきました。OKI本庄工場H1棟は、人・地球を第一に思いやり、製品だけではない新たな価値を創造するサステナブルな工場を目指しています。

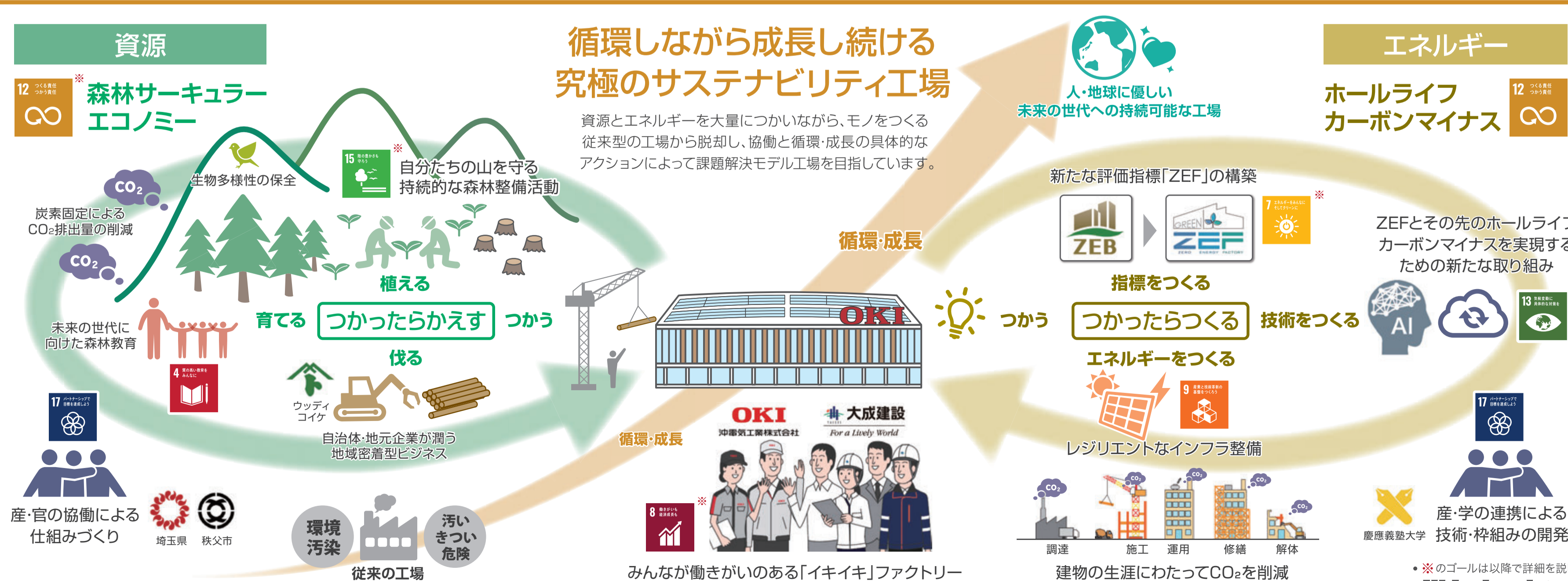


従来型の工場からの脱却 ～地域と共に成長する地産地消型の新たな工場モデル～

本庄市は江戸時代から利根川の水路に恵まれ、中山道最大の宿場町として栄えた土地です。OKI本庄工場H1棟は地域の歴史や文化・風土といった魅力を積極的に取り入れ、この地に根差すことを追求しました。古くから木・絹・土の資源循環が地域によって培われてきたことを継承し、地域の職人とOKIの従業員に参画してもらいながら、地域資源の結実点となる建築を目指しました。



SDGs達成に向けた取組みの概要



ゴール12に向けた取組

つかったらかえす 森林サーキュラーエコノミーの形成

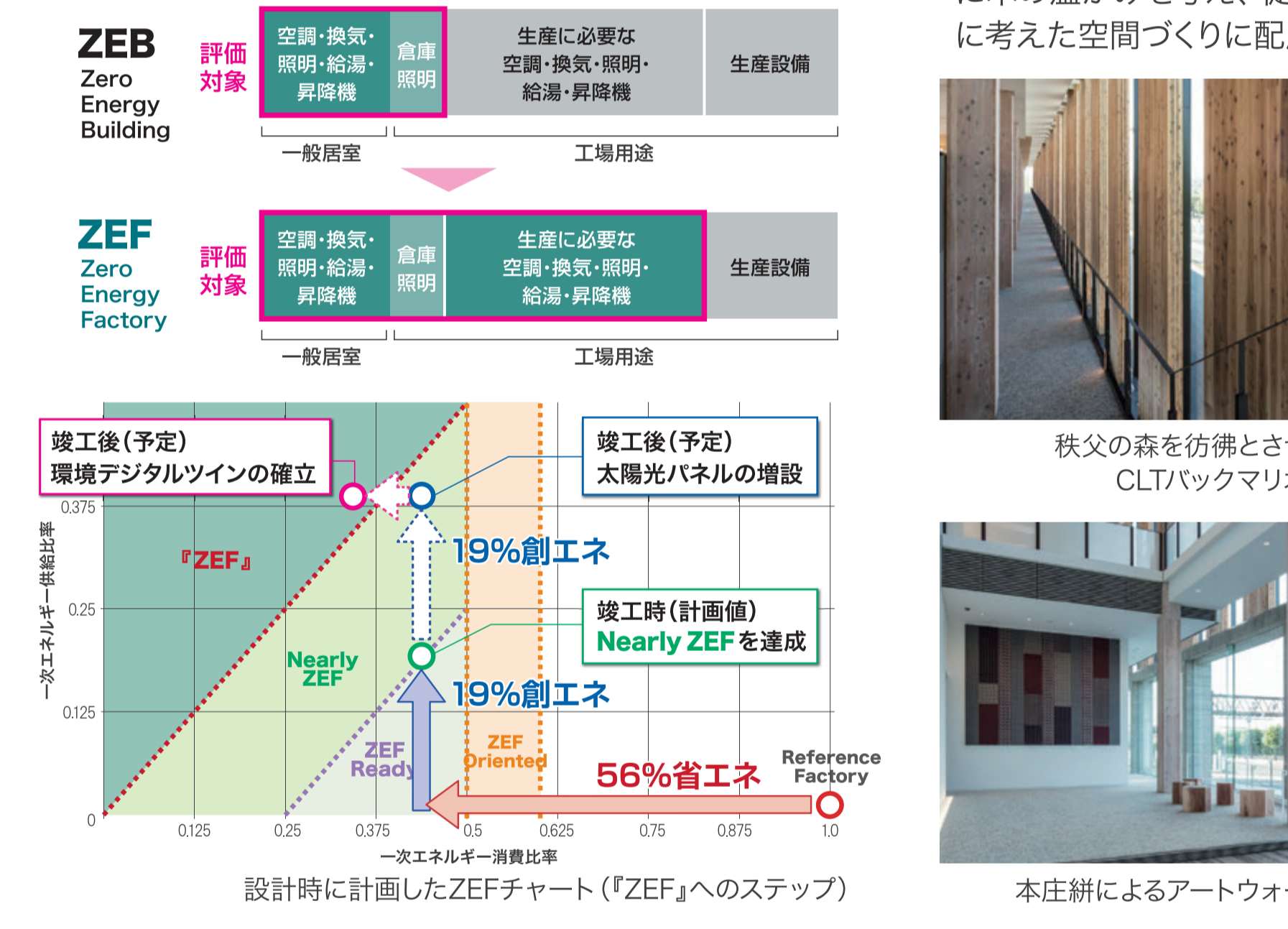
地域と共に成長してきたこの工場ならではの取り組みとして地産地消の資源循環があります。この仕組みをまわし続け常に成長させることで、生物多様性の保全や気候変動対策、地域経済の活性化、地域雇用の創出等の様々な価値を創出しています。



ゴール7に向けた取組

新たな評価指標「ZEF(Zero Energy Factory)」の構築

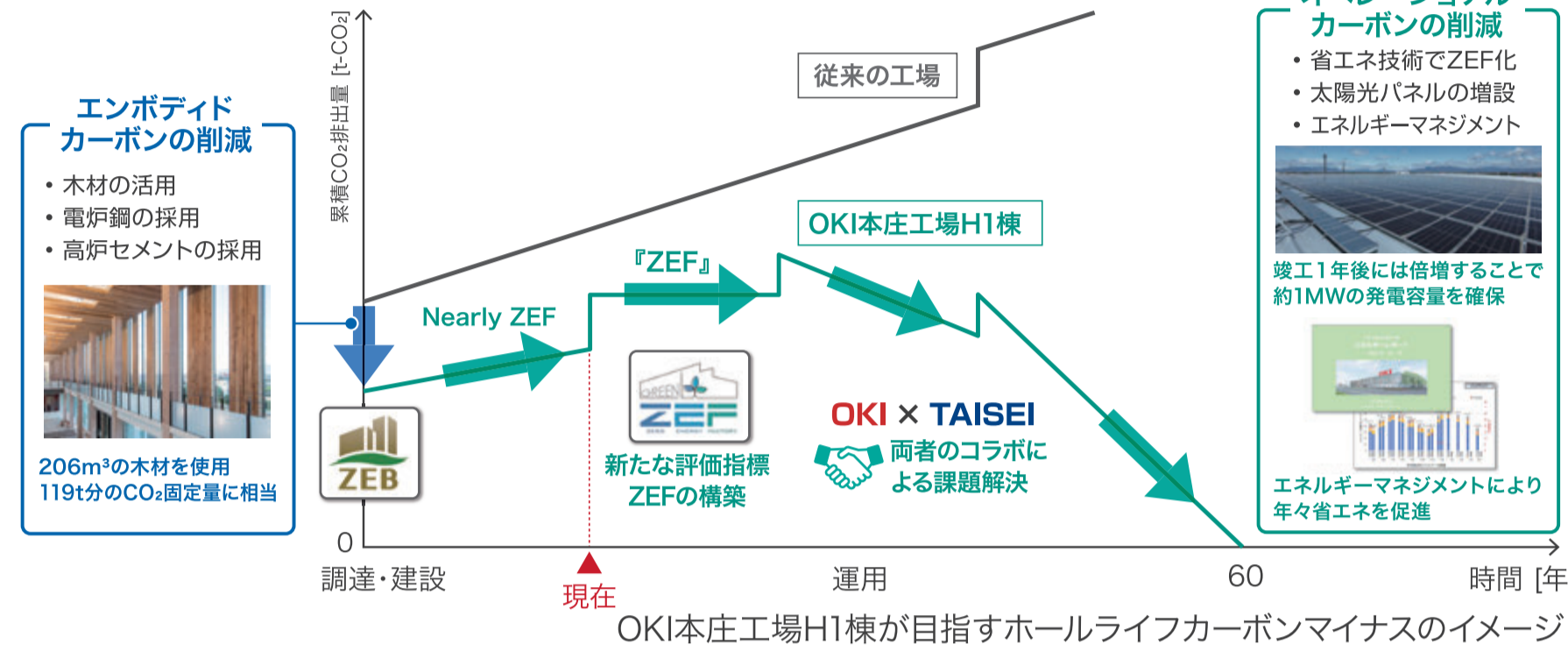
太陽光発電の増設や環境デジタルツインの開発・導入によって、100%以上削減の『ZEF』の実現を目指しています。



ゴール12に向けた取組

つかったらつくる ホールライフカーボンマイナスへの挑戦

建物のライフサイクルで発生するトータルCO2排出量の削減にチャレンジしています。木材の積極的な活用等により新たな評価指標ZEF工場の運用時のエネルギーゼロを構築・活用・運用しています。造って終わりではない、今もまだ成長し続ける現在進行形のプロジェクトです。



ゴール8に向けた取組

みんなが働きがいのある「イキイキ」ファクトリー

木の利用による温かみを感じさせる空間
工場内でも、特に殺風景になりやすい生産エリアや休憩室に木の温かみを与え、従業員の労働環境・生産効率を第一に考えた空間づくりに配慮しています。



ゴール13に向けた取組

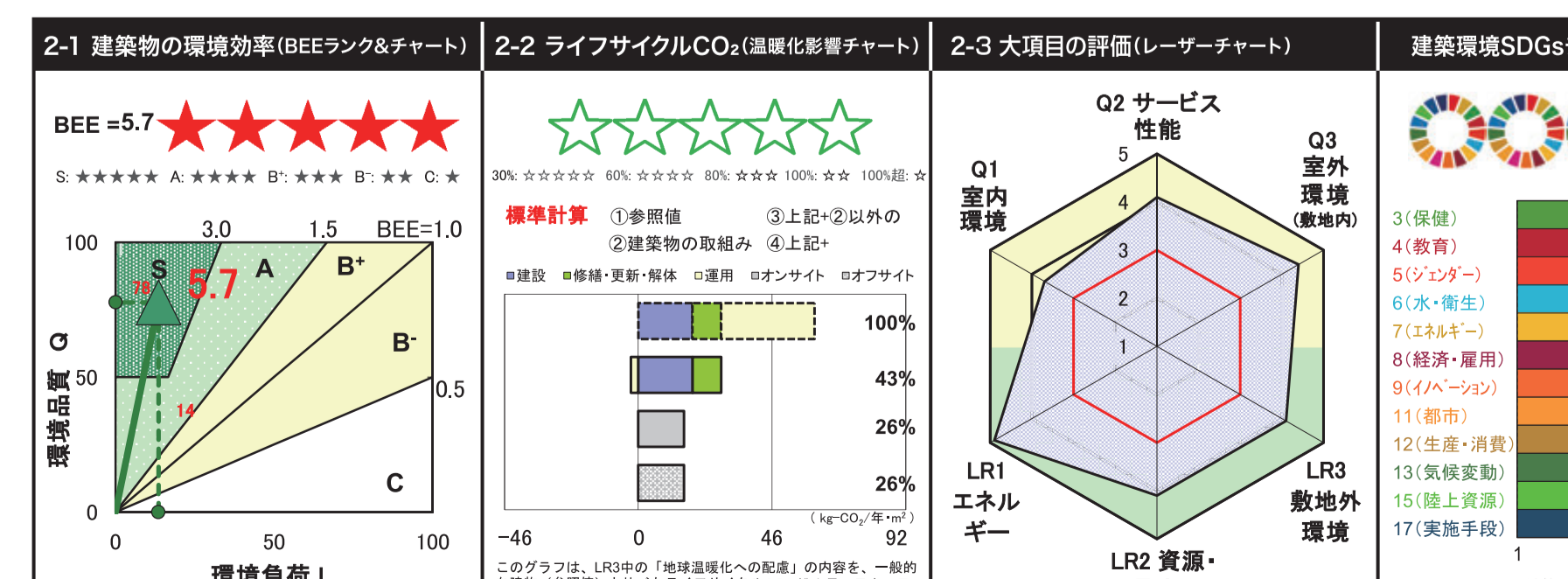
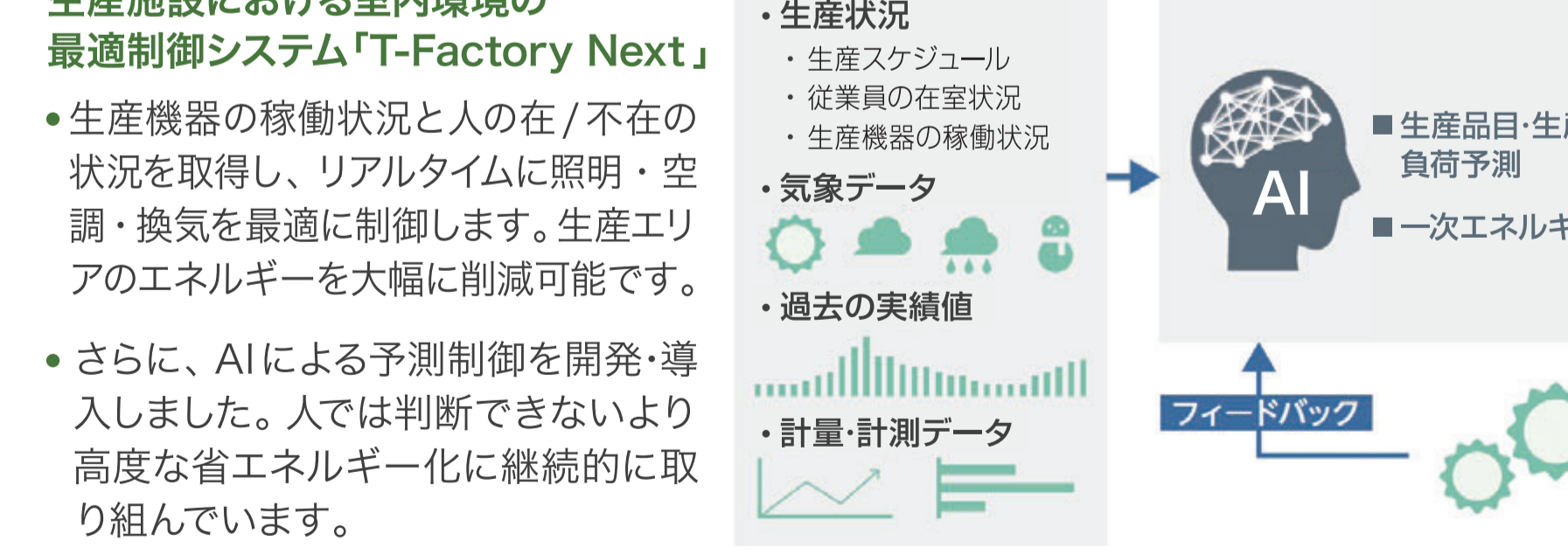
自分たちの山を守る持続的な森林整備活動

森林サーキュラーエコノミーを可能にした森林づくり協定
2023年2月に建築主・施工者・設計者と共に埼玉県と森林づくり協定を締結しました。



ゴール13に向けた取組

ZEFとその先のホールライフカーボンマイナスを実現するための新たな取り組み



OKI本庄工場 H1棟

建設地: 埼玉県本庄市
構造: 鉄骨造、免震構造
延床面積: 13,837.72㎡
階数: 2階、塔屋1階
設計期間: 2020/10～2021/5
工事期間: 2021/6～2022/4
工場用途: 精密機器組立工場

建築主: 沖電気工業(株)
設計: 大成建設(株)一級建築士事務所
設計協力: 慶應義塾大学 准教授 川久保俊
施工: 大成建設(株)関東支店
環境性能: ZEB認証取得(『ZEB』)
BELS ★★★★★ CASBEE Sランク
主な受賞歴: 第65回BCS賞(2024年)